

マブにらみレコード考

YABUNIRAMI RECORD KOU

No.4 ジャケットの効用？(III)

「僕という人間は偽りだ、真実を告げる偽りだ」。言葉の魔術でベル・エボックを席捲したジャン・コクトーは、「20の顔を持つ男」の異名通り、あらゆる芸術の分野にわたって才能を発揮しました。中でも美術、特にデッサンは、詩と並んでコクトーの重要な表現であったといえましょう。

コクトーのデッサンは、時に軽業師と呼ばれ、虚偽と諧謔、レトリックで世間を煙に巻いた彼の言葉と比べると、より直線的な——逆に言うやや奥行きを欠いた、平明な——表現のように感じられますが、「素描」という通り、コクトーの閃きがより身近に感じられる表現形式であるとも言えます。

そのコクトーのデッサンは、コクトーが格別親しかった「フランス六人組」をはじめ、

アンやサティなどコクトーと交遊のあった多くの音楽家のレコードを飾ることになります。



しかし意外なことにコクトーによるオリジナルデザインというものはごくわずかで、あくまでもジャケットデザインのイラストとしてコクトーのデッサンが——文字通り「Dessins」から——使われることが多かったようです。



これらコクトーのデッサンの中でも、おそらくはこのアルバムのために書き下ろしたと思われる「フランス六人組」(Columbia FCX 264-265)のデッサンは秀逸です。面白いことに、このアルバムのアメリカAngel盤は、同一のデッサンを使用しながらもカラフルな多色刷りのタイポグラフィのデザインを採用しています。しかし、アイボリーに赤1色刷りのフランス盤の醸し出す雰囲気と遠くおよばないと思うのは私だけでしょうか。

また、コクトーの数少ないオリジナルデザインのジャケットとしては、初演者ベルト・ボヴィによるモノドラマ「声」(Pathe DTX 288)や、ミヨーの「世界の創造」(屋根の上の牡牛) (DF 530.300)の自作自演盤などがあり、タイポグラフィとは一線を画したコクトーのデッサンの妙味を堪能することができます。(続く) (K)

当店では、主にクラシックのLPレコード、SPレコードとクラシック音楽に関する輸入古書、国内古書を扱っています。

レコードは、50年代から60年代初期にプレスされたモノラル期のLP、および、器楽曲を含めた室内楽曲と歌曲のレコードを中心に品揃えしております。

また、探求レコード、探求書も出来る限り探すお手伝いをさせていただきたいと考えております。

CLASSICUS

antique records

33 & 78 rpm

antique books

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町ビル1F
PHONE/FAX 03-3294-6077 OPEN 13:00~20:00 日月祝休
info@classicus.jp www.classicus.jp